

事務事業名 防犯灯補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：66

施策：	21	くらしの安全対策の推進	財務コード	01020111-04-056
基本事業：	01	犯罪に強い地域づくり	担当部	総務部
基本事業の成果指標	割合	地域（行政区又はコミュニティ）における防犯活動に参加している市民の割合 防犯設備の整備状況への満足度	担当課	危機管理課
			担当係	生活安全・防犯担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和49年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
行政区、自治会		各行政区が設置する防犯灯及びその電灯費について、予算の範囲内で補助金を交付する。 防犯灯設置補助 LED防犯灯への新設、取替：2 / 3 補助 LED防犯灯以外を一括してLED防犯灯に取替：1 / 2 補助 移設は補助なし。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【補助金交付の流れ】 補助金申請書、見積書、現況写真の提出 補助交付通知 完了届、請求書、領収書（写）提出 補助金交付				
防犯灯設置を促進させ、もって街頭犯罪発生件数を減少させる。		防犯灯電灯費補助 2 / 3（LED10Wの場合は1 / 2）補助 【補助金交付の流れ】 補助金申請書、防犯灯電気料の領収書（写）、請求書提出 補助金交付				

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
街頭犯罪発生件数	件	292	337	350	350			350	
防犯灯総設置件数	件	8,769	8,815	8,820	8,820			8,850	

5. コスト									
事業費	計	千円	22,205	28,095	31,410	31,804			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般	千円	22,205	28,095	31,410	31,804			
正職員人工数	人工		0.4	0.2	0.2				
正職員人件費	千円		3,126	1,605	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		25,331	29,700	33,086	31,804			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	<状況>街頭犯罪発生件数は新型コロナウイルス感染症自粛期間が明けたR4から増加傾向にあるが、コロナ禍前よりも抑制されている。 R1年中：377件、R2年中：258件、R3年中：255件、R4年中：273件、R5年中：292件、R6年中：337件 防犯灯をLEDに切り替える行政区が多くなっており、維持管理のコスト削減も図られている。								
どちらかといえばあがっている	<原因>街頭犯罪発生件数の増は自転車盗によるもの。防犯灯の効果が及ばない場所で発生しているものと考えられる。								
あがっていない（停滞・低下）	<課題>今後も継続して、防犯灯数の増加、LEDへの切替を補助により支援していく。								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
昭和49年筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程制定。 平成7年6月筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程全部改正。 平成24年3月筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程全部改正（LED灯への変更）。 令和5年7月規程一部改正（LED防犯灯への一括取替補助追加）。					街頭犯罪：強盗、不同意わいせつ等、空き巣、忍込み、居空き、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、ひったくり、車上ねらい、部品ねらい、自販機ねらい、万引き				